

連盟ニュース

300

神奈川 1

2010.1.12



『北アルプスの夜明け』(北アルプス・烏帽子岳にて) 撮影：トリコシアキオ(<http://tory.com/>)

連盟ニュース300号を祝して	理事長 後藤真一	2
遭対部便り 2010年1月	遭対部長 田村和寿	3
ファーストエイド講習会1/31	遭難対策部	3
湯河原梅林公園環境保全活動1/24		4
広沢寺の岩場清掃集会2010(第11回)3/7		4
労山女性委員会ヒマラヤ学校キンノールコースに参加して	藤沢山の会 高崎明美	5
横浜こぶしの会創立30周年行事八ヶ岳西天狗岳山行	上野昭典	7
丹沢山行録 葛葉川本谷	後藤真一	8
自然風景写真家・鳥越章夫写真展感想文二題	中山建生、小野寺英夫	10
12月事務局長会議の報告	報告者 田村和寿	11
1月常任理事会報告	報告者 中山建生	11
神奈川県勤労者山岳連盟第32期定期総会のお知らせ		13
神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定		14
登山時報紹介		12
県連のスケジュール/全国会議行事予定		16



神奈川県勤労者山岳連盟
 〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2 永田ビル3階
 TEL/FAX 045-434-2726 <http://www.k-rouzan.net/>
 発行責任者 後藤 真一
 振込先 郵便局 世界貿易センター内局 #00290-9-15228
 他金融機関からは 029店 当座0015228

県連ニュース300号を祝して

理事長 後藤 真一

2010年の初日の出を、塔ノ岳山頂直下の林にツエルトを張り、県連田村遭対部長と仮眠しながら迎えた。脊梁山脈の北側では典型的な冬型による大雪なのだから、紺碧の空を紅に美しく染め上げる日の出を眺められるのは太平洋側の特権かもしれない。白い樹皮が真っ赤に照らされる瞬時の出来事に、寒さも忘れしばらく息を止めた。

足元に広がる街並の灯りの数だけ、新年を祝う喜びがあるのだろう。そして今年も、この街の灯りの中からその輝きをヘッドライトに換えて、新しく山に登る人が生まれるのだろう。ようこそ山へ・・・私たちはそんな人たちのいつでも受け皿になっていきたい。

さて、この神奈川県連ニュースも数えること300号だそうだ。年数に換算すること25年。皆さんも知ってのとおり、毎月毎月この編集作業を担当している事務局のご苦労は大変なことだ。25年の間、担当者が交代しながらも欠かすことなく継続してこられたのは、余程の組織力がなければ成しえなかったことだと思う。また、その基礎を築いていただいた諸先輩方の情熱に今更ながら感謝するとともに、今を含め編集作業に携わっていただいている方々のご尽力に感謝する次第である。

その間、登山の楽しみ方、技術、装備など日進月歩の進化を遂げてきた。私が登山というものの洗礼を受けたのはかれこれ30年前だが、その頃はザックもキスリングにグランドシートはセパレートだった重いテント、メタで余熱をかけたホエブス、服装はカッターシャツにニッカーズボン、そしてクライミングもエイト環やグリップビレイだった。本当に今は軽量化され、そして安全性も格段に上がったものだ。

だが自然の条件は変るものではない。最近の遭難事故からもわかるように、まさかあの人が？と思うベテランの経験則さえも飲み込んでしまうほど、むしろ厳しくなっているように思える。

もっともっと登山とそれを取り囲む情報にアンテナを張らなければならない。県連ニュースも連盟内外を問わずすべての登山者に対する媒体として、これからも皆さんの情報提供など強力な支援をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。



遭対部便り 2010年1月

遭対部長 田村和寿

皆様、あけましておめでとうございます。

さっそくですが、新年早々に痛ましい事故が発生してしまいました。北アルプス奥穂高岳での、兵庫県連の東灘勤労者山岳会の男女3人の遭難です。1月8日現在、一人が死亡、二人が行方不明。昨年2回も非常事態宣言が出されたにもかかわらず、残念なことです。

片山右京の事故、大晦日から正月にかけての悪天予想から危険は喚起されていたのに、なぜ入山したのでしょうか？ もちろん遭難するつもりで入山するはずはありませんから、予想外の事態が起こったのは間違いありませんが、問題は本当にそれが「予想外と言える内容だったのか？」ということです。

以前、遭難の反省会でこのような言葉を聞いたことがあります。「10年間通ったからと言って、わかつたつもりになるな。何十年に一度ということもあるんだ」。我々は改めてこの言葉の意味をかみしめて、自分の知識、経験以上のことが起こりうることを想定しなければならぬと思います。

ベテランの方は天気図を見て、天気を予想することができるはずですが、同じ天気図であっても、天気図に現れない湿度が異なれば降雪量も変わります。雪質も変わって、雪崩も起きやすくなるかもしれません。ゲリラ雷雨が訪れるような昨今の気象において、どうして従来の経験が役立つのでしょうか？ 従来の知識や常識に捕らわれず、変化を敏感に感じ取り、その上で新たな予想をする能力が必要なのです。

「ファーストエイド講習会」のご案内

2009.12 神奈川県連・遭難対策部

山でアクシデントが起きた時はどうすればいいでしょうか？その場の持ち物を使い、自分たちで即座にできるファーストエイド（応急処置）の技術を学びましょう！

主催：神奈川県連・遭難対策部

講師：高津久美

MFA(メディック・ファースト・エイド)インストラクター

日程：2010年1月31日(日)

集合場所：

県民活動センター 会議室405

横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2

電話045-312-1121 横浜駅 西口・きた西口を出て、徒歩およそ5分

服装：汚れてもよい動きやすい服装

タイムスケジュール：

受付9:15～講習9:30～

休憩12:00-12:45

終了16:45

昼食：休憩時間に各自(研修室内での飲食も可能ですが、ゴミは持ち帰り下さい)

費用：労山会員：2,000円・一般：3,000円

対象：登山・ハイキング・クライミングなど愛好者

主な講習内容：

必携装備の紹介、

出血のコントロール、体位の変換

包帯の使い方

捻挫・打撲・骨折の処置、疾病、

総合的なシミュレーション

持ち物：

三角巾、筆記用具

持っている方のみ(新規購入不要)：

救急パック、スーパーのビニール袋

ストッキング、ストック、折畳傘

申込先：

留守電・FAX 050-3488-3765

e-mail kanagawa.soutai@gmail.com

申込締切：1月27日(水)



労山女性委員会ヒマラヤ学校キンノールコースに参加して

藤沢山の会 高崎明美

山域：北インド ヒマチャールプラデッシュ州キンノール地区 バーバ谷トレッキング+サン
グラの祭り+キンノールカイルス展望他

山行期間：2009年8月28日(金)～9月12日(土) 参加者：15名

労山50周年記念一大イベントである女性委員会主催のヒマラヤ学校(キンノールコース他4コース)は多くの実力派女性登山家及び日本各地の女性登山愛好家たちの元気の結晶であり成果であったと思います。

2009年6月から9月まで実施されたトレッキング5コース各々の報告書は既に各パーティーから立派な報告書が発行されています。(キンノールコース報告書表紙添付参照)キンノールコースについても 山岳地帯のトレッキング ヒンズー教寺院とその祭り キンノールカイルス 避暑地マナリでの学校訪問 インド家庭料理講習会等女性パーティーならではのアイデア オプション 旅行中の健康管理報告など詳細に報告されておりますのでこの場での報告は割愛させて頂き、初めてトレッキングなるものに参加した私の感想を紹介させて頂きます。

そもそも参加のきっかけはインドヒマラヤという山域とトレッキングが体験できるチャンス

に魅力を感じてほとんど衝動的に昨年正月明け早々取り敢えず参加申込みをしたのが始まりでした。仕事と家庭と老齢で病弱の母親を抱えて実行できる可能性はなかったはずなのですが、出発までに仕事や家庭の障害を何とか解決或いは強引に成行きを天に任せエィヤー！と出かけてしまったのでした。母親を応援する子供たちのサポートがあったのは言うまでもありません。

インドヒマラヤキンノール地区バーバ谷は日本人初のトレッキングであったそうですが、モースーンの明け切らない悪天候続きで天を衝くようなヒマラの雄大な風景は一瞬でした。しかしながら片言で接した牧童や羊飼いの人たち・山奥の村人の優しさ、人なつこい眼差し、取分け子供たちを村人全員で大切に育てている風土・しっかりと大地に根を張ったヒマラヤツガと新雪を被った岩肌のコントラスト・谷筋の秋の花と河原に遊ぶ牛・馬・羊・山羊の群れすべてが新しい発見でした。



トレッキング後楽しいマナリ風来坊(森田氏経営宿舎)での2泊3日の滞在の後には長い長いデリーへの帰路の旅が待っていました。とにかくがけ崩れ・落石・交通事故・橋の崩壊・車両故障「なんでもあり」のインドでしたがメンバーの明るさと英語力とガイドさん・運転手さんの安全への配慮とデリーでの旧友の心使いなど多くの人に支えられました。又女性のみで企画し実践したことで参加者間の意気疎通が無理なく、うまくいき16日間という長丁場の旅行中も特にトラブルはなく楽しい山旅ができたと思います。それは一人ひとりがメンバーの一員という自覚と海外登山経験豊富であるという自信を持ち、良識とケジメを心得ていた性でもありました。

今後も女性による女性の為の女性登山パーティーが多く結成されることを期待しています。

<参照>キンノールコース

- 8/28 成田空港(JL471便)12:30 17:35デリー ホテル泊
 29 (移動日)デリー 5:30 (車) 15:00シムラ ホテル泊
 30 (移動日)シムラ7:00 (車) 17:45 Katogawun 電力省ホテル庭 テント泊
 31 Katogawun7:30 (車) Kafnu 9:05 13:20 Muling2時間手前の空き地(通称「熊の家」)B・C
 9/1 テント場8:40 丸太橋 休み 10:00草原帯休み 11:45(雨宿り)スナックタイム12:20 12:50Neugalの森眺望地13:30 休み 16:05B・C着 B・C
 9/2 テント場8:00 (熊の水場) 9:00渡渉 (コース変更) 橋休み 10:00 急坂 RUPY谷方面 (ランチ) 橋 B・C着
 9/3 テント場8:50 (トレッキング) 14:30 Kafnu Dam テント泊
 9/4 (移動日) Kafnu Damテント場8:40 (車) 12:00Sangra (夜)祭り見学 ホテル泊
 9/5 (移動日)Sangra Kalpa ホテル泊
 9/6 (移動日) Kalpa6:30 Sarahan 17:00 Jolori Pass テント泊
 9/7 (移動日) Jolori Pass6:00 21:00Manaliマナリ風来坊山荘 山荘泊
 9/8 (Free)
 9/9 (Free) 山荘泊
 9/10 (移動日) マナリ5:00 24:00デリー ホテル泊
 9/11 (帰国日)Free デリー観光15:45 17:30空港19:35発 (JL472便)
 9/12 07:00成田着

メンバー

- L 神村和子 (茨城・つくばね山の会)、
 S L 青柳百合子(神奈川・山ブキの会)、
 S L 山下紀子 (東京・グルッペわたすげ)、
 早坂八重子 (神奈川・山ブキの会)、
 平山晴美 (神奈川・藤沢山の会)、
 岡田紀子 (神奈川・緑星スキーと山の会)、
 浅野順子 (東京・グルッペわたすげ)、
 大橋チエ子 (神奈川・相模A C)、
 高崎明美 (神奈川・藤沢山の会)、
 三浦富美江 (東京・グルッペわたすげ)、
 森岡睦子 (鳥取・米子労山)、
 内田敏子 (神奈川・地平線の会)、
 青戸君恵 (島根・松江ハイキング)、
 平井久子 (島根・松江ハイキング)、
 井上志津子 (千葉・ちば山の会)



キンノールコース報告書表紙



キンノールカイルス

各会の山行紹介

横浜こぶしの会創立30周年行事 八ヶ岳 西天狗岳山行

日程：2009年11月14日～15日

メンバー：CL上野、SL田辺、石川、小町、
斉藤、佐藤(恭)、塩澤、塩谷、鈴木、趙、辻
井、戸澤、南雲、広瀬、前田、政田、間所、
渡辺(以上18名)

横浜こぶしの会は1979年4月創立以来、今年で30年を向かえました。今年は今久良岐ハイキングクラブの解散により4名の方を向かい入れ総勢28名の会となっております。30周年を記念し、みんなが参加出来る場所をとの選定で唐沢鉱泉よりの西天狗岳を選びました。天気は上々で、まずまずの展望でしたが山頂では寒くのんびりすること無く早々下山しました。コ-ス中の木々には霧氷が付きとても綺麗な輝きがありました。途中の展望台からは南八ヶ岳や北八ヶ岳の山々の眺望が眺められ充実した山行でした。参加者は18名と多く初めての大人数山行となり、事故や怪我も無く無事下山出来たのは皆さんの協

力のお陰でした。有り難う御座いました。

又、宿泊した唐沢鉱泉は料理といいお風呂といいとても満足の宿でした。

今はオールラウンドに出来る会員が少なくなりましたが、色々な山行をできればと思っています。これからも横浜こぶしの会の技量の向上に微力ながら頑張っていきたいと思っていますので宜しくお願いします。

記：横浜こぶしの会 上野昭典



丹沢山行録

くずは がわ ほん だに 葛葉川本谷

遡行グレード：1級

プロフィール 登攀可能な滝が40以上続き、沢登りの楽しさを存分に味わえる初級者向けの丹沢屈指の人気沢。

交通手段 小田急線秦野駅北口から渋沢駅行または横野入口行で約13分、230円。菩提原バス停下車。5時台から21時台まで時間ごとに1～6本あり。菩提原バス停から入渓点の菩提ノ泉までは徒歩50分。

渋沢駅北口から菩提系由秦野駅行バスも菩提原バス停まで約14分。

車利用の場合は、東名自動車道秦野中井ICを出て左手秦野市街方面へ。約1.7kmの河原町交差点を

左折し約5km走って、菩提原バス停の先の信号（右にライオンズマート）を斜め右の細い道路に入る。

沢を右手に見ながら走り、野外活動センターの案内板に従い左折して、同センターを右手に過ぐせば少して葛葉ノ泉（水場）に着く。水場の反対側に7～8台駐車できるスペースがある。

ポイント

入渓は葛葉ノ泉横から入ってもよいし、橋を右岸へ渡り先の小堰堤を越してから入ってもよい。

小ゴルジュ帯の連瀑、3連瀑、少し開けて2段3mくの字状滝を越えると、二条5m滝。左側が1級。標高580mで水量比1：3の二俣。二条3m滝のように見える。右俣に入るとすぐに核心のひとつであるほぼ垂直の板立ノ滝5mが現れる。登攀慣れた人ならば左右とも登れる（+～級）が、技術に乏しい人は右側上部の樹木を目指して高巻いた方がよい。



（入渓点）



（板立ノ滝）

表丹沢林道の手前はゴルジュの中に4段5m曲がりノ滝がある。水流沿いに入り、中段は右壁を登る。時間が押ししたりアクシデントがあった場合は、表丹沢林道へエスケープできる。

林道上流も小滝が11個ほど越すと沢はゴーロ状になる。この小滝の途中、左右から湧水が出ている。



ゴーロ帯最後に3段10m富士形ノ滝が現れる。

その形から富士形とはなるほどと共感。やはり慣れた人なら正面から登ることもできるが、滝岩の右奥から1級～くらいで越せる。この滝は下から見ると2段6mくらいにしか見えないが、その上に3段目がある。

富士形ノ滝の上の2段5m滝を越すと、3m岩と左上に石積み壁。岩を回り越えると「左」と書かれた丹沢観光協会の看板があるので、それに従いこの二俣は左へ進む。

快適な乾いた3段10m滝を越し、左から小さな脆いルンゼ、次に右から小ルンゼをやり過ぐすと、奥の二俣の左沢にピンクテープがあるのでそちらに進む。この左沢の詰めに青テープが連続しているが、沢はザレ場で悪いので途中からブッシュ沿いに登った方がよさそうだ。沢状が終われば左の植林帯に入り、少し不明瞭な踏み跡を追って三ノ塔山頂の下部100m下、三ノ塔尾根上に出る。



（詰め）

下降路

三ノ塔山頂まで登り（徒歩15分）、隣の二ノ塔から二ノ塔尾根を下降すれば葛葉ノ泉の林道ゲート東側に降りられる。遡行終了点から1時間20分。

または、三ノ塔尾根をそのまま下降し大倉まで1時間45分、三ノ塔山頂から二ノ塔を越えヤビツ峠まで1時間5分。

ヤビツ峠から秦野駅行バスの最終は休日16:16、平日15:51（2009年現在）で、冬季は運休するので要注意。

大倉バス停から渋沢駅行のバスは休日20:38、平日21:45まであり無休である。



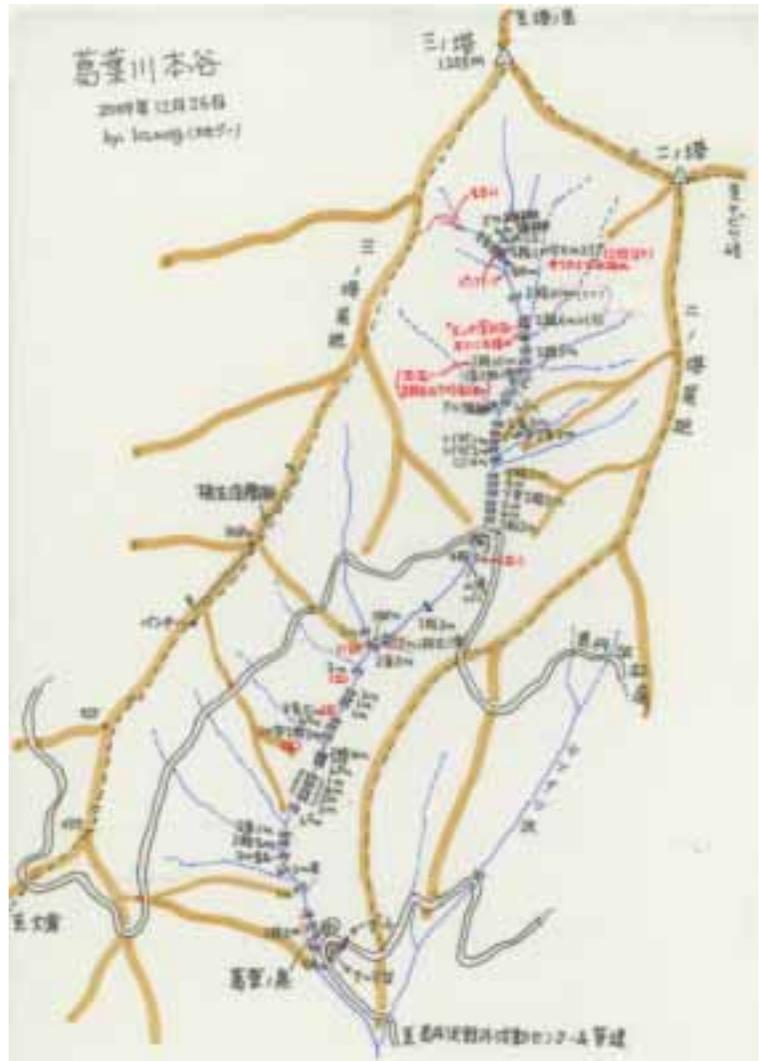
(駐車スペースと葛葉の泉)



(登れる滝がどんどん続く)



(三ノ塔山頂)



参考タイム 葛葉ノ泉 - (1時間) - 板立ノ滝 - (20分) - 表丹沢林道 - (35分) - 富士形ノ滝 - (10分) - 「左」看板 - (1時間) - 三ノ塔尾根 - (15分) - 三ノ塔

必要装備 初心者や登攀技術不足の人がいる場合は要ロープ。その他沢登り基本装備。

遊 行 日 2009年12月26日(冬でも遊行可能)

記録および写真 後藤真一

食料買出し 車利用の場合、菩提原バス停交差点手前約1kmのセブンイレブン秦野菩提店が最終。秦野中井ICから市街地には通り沿いに何店がある。電車利用の場合、渋沢駅北口にオリジン弁当(24h)。以前北口左端にあったセブンイレブンは2009年閉店されたので注意。南口には真南100mにファミマがある。駅構内にある小田急O×は9:00開店。秦野駅は、南口ロータリー先を左折し次の信号を右折するとセブンイレブンがある。(駅から約200m)

入 浴 県道62号線と国道246号線の交差点「堀川入口」から62号線沿い北西方向左側にスーパー銭湯「湯花楽(ゆからく)」がある。23時間営業。休日850円、平日750円。食堂あり。雪のサウナがおもしろい。渋沢駅北口から徒歩約15分。駐車場は大きい。

または、小田急線鶴巻温泉駅北口駅前にある「弘法の里湯」。9:00~21:00で月曜定休。1,000円。駐車場はあるが休日は結構混雑している。施設はきれいな公共温泉施設である。

自然風景写真家・鳥越章夫写真展を見る

2009.12.7 中山建生

鳥越君の写真は毎月の連盟ニュースでみなさんも知っている。偶然近くのコンビニで彼と出会い、写真展が今日までだと知らされた。彼の写真は心象的なやさしい作画であった。しかも彼の経歴をみると写真は独学である。私も過去にある写真集団に属していたから、こうした世界の狭いことを知っていた。毎年個展を開き発表していると聞いた。実際に作品を創り、用意して臨むには多くの準備、労力と時間とお金がかかる。自分が好きで選んだ道、あれこれ悩んでも仕方がないが、鳥越君の隠れた一面を見せてもらった。彼の住む松田の周辺の自然に引かれた気持ちが作品から伝わってくる。

登山者にひらめきや感性が求められるときがある。多くは経験を積むことで技量をあげて目標を高めることができる。が、ひらめき、素質は後天的には得られず、こうした力を持つ人には凡人にはどんなにがんばっても追いつかない。クライミングの世界にも通じる。ほんの一部の人にしかない世界である。

写真に興味をもち作品を撮り続けている会員は川崎ハイキングにもいる。彼の作品も何回か見せてもらった。元相模の会員であった高橋良行君は山岳写真集団の一員としてプロの世界にいる。文字を書かせて、写真を撮らせて、絵を描かせて一流という世界に入り込めるのはほんのわずかであるが、チャレンジしていく意志には感服する。多くの才能は枯らしてしまってもったいなく、育てて咲かせてこそ価値がある。育てるのはまわりの人達の役割でもある。いつか鳥越君の作品が世界に羽ばたく事を願っている。今では日本でいちばんなど高が知っている。会員の中には人知れず優れた才能をもつ人達がいるものと思う。ぜひ外に出てきてほしいと思う。

鳥越章夫・写真展2009“光画風景”を訪ねて

県連事務局 小野寺英夫

土曜日の午後2時半頃、静かな雰囲気の中、ゆっくりと一点一点作品を見て回りました。

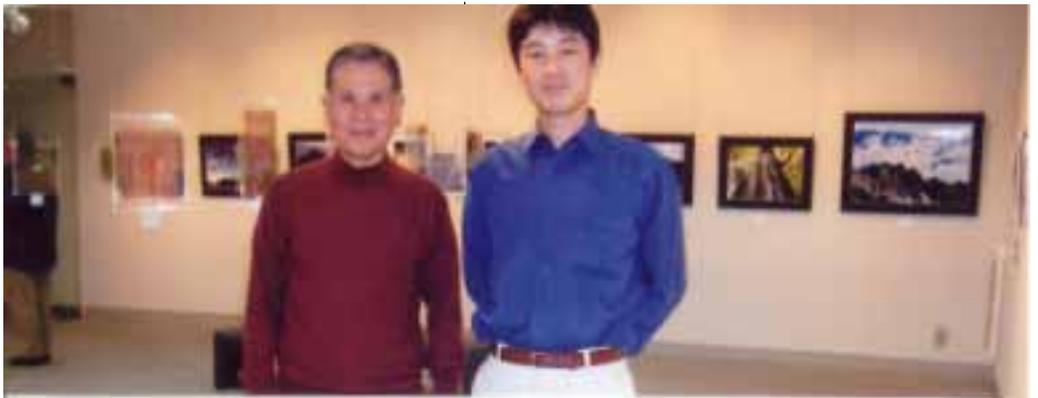
大樹の強さ美しさのバランス、そして縦に撮られた高さの表現・横に撮られた大きさの表現、雲や霧の動きと風の悪戯、又光の具合で日々刻々と変わる自然のうつろい、静から動・動から静と移る瞬間の表情、その自然の舞台の広さを50数点の作品が教えてくれました。

稜線の四季折々自然の美しさがあるのに何も気が付かず素通りする私、写真家の鋭い目が捉えた魔術的な一瞬に見入りました。又デジタル機材の光に潜む千変万化の色彩の再現にフィルムの色彩の表現をダブらせながら格段のデジタル技術の進歩を認めてもいました。

一方、初心者から上級者までを対象とした写真教室、撮影会での実践指導、企業カレンダーやパンフレットに作品を提供するなど私の知らない実生活の顔もみせて頂きました。これからは、日本の自然風景写真から世界の自然風景写真へと写業の夢、いやはっきりした目標をお持ちで行動されるのだろうかとの想いをめぐらせながら、雨に変わった街に戻りました。



川崎柴笛の宮沢氏



写真展示会場で 鳥越氏(右)と小野寺氏

2010年1月神奈川県連盟定期常任理事会の報告

2010.1.5 報告者 中山建生(進行)
出席者：増田徹(ハイキング委員会)、三上茂(事務局・機関誌)、蝦名正次(事務局・財政)、高橋勇三(自然保護)、中山建生(副会長)、田村和寿(遭難対策)、小野寺英夫(事務局)、後藤真一(理事長)、渡辺三男(会長)、貝和利昭(救助隊)
欠席者：磯部津輝子(副理事長)

1月5日午後7時12分に議題を整理、発言は以下の順に担当者が行い報告しました。

小野寺英夫は連盟総会の準備、議案書の提出(1月骨子、2月提案)として2月の事務局長会議に説明する旨を通知、各担当理事に協力を求めた。総会を前にした準備と事務局活動の内容を確認し不明な点を明らかにするよう求める(レジメ提出)。

三上茂より連盟ニュース1月号の内容と原稿依頼を確認し、発行の手配をする。

高橋勇三からは自然保護委員会の今後の活動予定と全国植樹祭の報告をする。

増田からはハイキング委員会の今年度の活動予定について近日中に討議の予定と報告をする。

蝦名からは白嶺岳和会の滞納についての取り扱い、決算報告と清算、次年度予算案を提出するよう求められる。前記理事会で会計処置を改善するように発言をした内容の確認をする。

海輪からはセルフレスキュー講習会の報告、県の救助隊、深雪の訓練などの取り組みなどについて報告をする。総会準備につき担当者の結集をうながす。

中山からはこの期間に冬山での事故は気象遭難であり、事前に知らされている情報を正しく受け止めるなら事故は起きるはずがないもの、近年学習や訓練をせずに登山を実施する安易な傾向を戒めなくてはならないと発言する(資料を提出)。

田村からはファーストエイド講習会の取り組みについて、相模のヘリ救出報告をする。

報告事項を済ませ、クリーンハイクの日程変更と植樹祭の関連について討議する。

全国総会の神奈川の代議員は渡辺三男、田村和寿、小野寺英夫(補欠)とし、さらに1名の追加をする。全国議案の討議は2月以降、事務局長会議でも意見の集約をされるように準備をする。各会に議案書の交付がされているかどうか

点検し事務局は意見の集約に努める。

植樹祭の取り組みに関係してクリーンハイクを16日に変更して、行政との連携強化、登山者に喜ばれるものとして取り組みたい旨、後藤理事長から提案がある。日程変更と植樹祭の意義など検討する。しかし、秦野市からの正式な申し入れではなく任意に協力をしたいという提案は後藤理事長からであること。日常的な自然保護活動をあえて天皇が参加をする公的行事に重ねることは単なる登山者への自然保護活動の普及とは言えず登山の理念からしてどうなのかという疑問も指摘された。また年間日程の変更は他の行事予定の変更を伴い混乱するとの意見も出て変更するとの協議には至らなかった。この件につき早期に結論を下す必要あり。

追記、3月14日の総会会場は県内会場を12日までにあたり、これら該当する場所がないときに全国連盟事務所(東京都新宿)にする旨を確認した。

代議員数約70名、役員23名を収容する会議室を戸塚に会場を確保した旨渡辺会長よりの連絡を受ける。追而詳細は事務局より通知する。

以上

事務局長会議報告 2009年12月8日

県連からの通知事項

- ・雪崩講習会関東ブロック 1月23・24日
- ・幕岩の保全活動 1月24日
- ・全国登山のHP紹介(全国雪崩事故を防ぐための講習会など)
- ・全国植樹祭
- ・中山さんの新刊の紹介「雪山の基本」柘出版社
- ・県連総会 3月14日
- ・財政部からの報告
 - 連盟費の入金のない会が3会
 - 今期の決算は1月末で閉めます

各会からの報告

川崎ハイキングクラブ

飯森山公開ハイキングを実施(連盟ニュースに掲載)

失敗談：平沢集落から先は大型車進入禁止だったが、観光バスに無為やり入ってもらった。

裏話：5～6万円の収益がある。

目的は新規の会員募集だが、入会者は今のところ無し

楽笛クラブ

11月7・8日のレスキュートレに7名参加。新しい技術を学べ、有意義だった。

雪訓の下見に白毛門に偵察に行ったが、雪は

アルパインクラブ横浜

会員数は33名

遭対訓練として県連レスキュートレに参加した。ノ年末～年始山行は早月尾根、山スキー、アイスクライミングなど。

藤沢山の会

11月に食事山行を2回実施

12月5日の朝日新聞にて紹介された。5～6名の入会希望あり。

雪山の集いの活動でピーコンを揃えた。6月まで雪山を楽しむ予定。

相模アルパインクラブ

11月25日に雪山机上学習を、12月5日に富士山での雪訓を実施。御殿場口から2時間程度登ったところで訓練を行ったが、雪は少なかった(吹きだまりで訓練をした)。

冬山希望の入会希望者が突然やってきて、急遽会員登録や特別基金の加盟手続きを行い、訓練に参加させた。

みずなら山の会

11月の県連レスキュートレに5～6名がスタッフ参加。

会では縦走、ハイカー向けのセルフレスキュートレを実施。他会からの参加もあって好評だった。

12月は忘年山行、花立山荘集中。モミソ沢アイゼンクライミング、大倉～二股～堀山～花立縦走、戸沢より読図など。下山は2パーティーに分かれて、西丹沢、宮ヶ瀬に下山。

雪董山の会

先週末、唐沢岳に新人二人と行ってきた。年末は南アルプス、北アルプス南岳西尾根。10周年機関誌を作成中。

やま++

25日皇海山、庚申山。あまり歩かれていないようで藪こぎとなった。あと1時間で山頂というところで撤退。

朝日新聞に藤沢山の会と一緒に掲載されたところ、HPのアクセスは3倍になった。しかし入会希望は無し。

川崎勤労者山岳会

11月、丹沢烏尾根で搬出トレ10名。会員の半分以上で寂しかった。歩けなくなった登山者の搬出(登山道を落ちた設定)

12月12・13日 谷川天神で雪訓。

12月9日 冬山気象

横浜ハイキングクラブ

個人山行が多くなってきた

リーダーを年に1回やることを義務化。また、必ずいずれかの役に就くように組織を変更中。やめる人が出るのも覚悟。

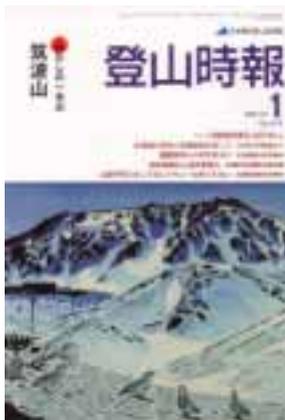
小田原ナゲル山の会

11月15日に読図山行源治郎尾根。

月1回、会山行を行っている。企画者には三千円の謝礼。

12月は忘年会、1月はクロスカントリー。

リーダー学校の入学全額負担を10年来やってきたが、2月にお金を受け取ったにも関わらず、10月に他会に移ったものがあり、ショックを受けている。 以上



登山時報 1月号 目次	大胆な組織改革の論議を	齊藤義孝 12
連載 わたしの一名山 筑波山 岡孝雄 03	山で気になるカンキョーの話	菊地敏之 21
草創期を語る 森田千里さん 森田千里 22	タカトリ今昔物語	古川純一 24
錦秋の下ノ廊下 黒部の秘境を歩く	連載 碧い南の島だより	雨宮 節 25
小倉迪夫 10	JWAFクリック 29/全国連盟の活動	31
北海道登山研究集会	専門委員会活動報告	32
立松和平氏講演「北海道の自然と百霊峰	編集後記	34
巡礼をして」	インタビュー	ひと 石田道子さん
遭難事故から何を学ぶか		小野洋子 35
菊池朋子 16	地元会員特選ミニガイド	
地球温暖化と低炭素登山 2009年全国自然	京都・赤岩山/佐藤淳	
保護担当者会議	鈴木澄雄 18	
応急手当てなしではレスキューはありえない	神奈川・聖峰/須藤その子	36
第8回全国救助隊交流集会	井芹昌二 26	
連載 クイズ地図読み迷人	ブックエンド『小出郷山岳史』他	
村越真 宮内佐季子 07	富永弘 他 38	
山のスケッチ	寺崎寛子 08	
野鳥との出会い		
カワセミ 小枝琢三 福井壽彦 09	あらかると「はじめての山登りは小学二年	のとき」
シグナル	会報えつらん室	塩田善次郎 40
	オススメ山道具	
	個性派小物袋	パート3 笹原芳樹 42

神奈川県勤労者山岳連盟第32期定期総会のお知らせ

以下のとおり第32期定期総会を開催します。
 各会においては代議員の選出をお願いします。
 代議員は会員10名につき1名、10名までの会は1名でお願いします。
 ただし、代議員は本連盟の役員を除きます。
 また、次期新理事の推薦をお願いします。

日時：2010年3月14日(日) 10時から17時

場所：戸塚法人会館

横浜市戸塚区上倉田町449-2

TEL 045-861-8743

内容 2009年度活動報告
 31期下期(2009年度)決算報告
 2010年度方針案
 32期上期予算案
 理事の選出など



神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定

川崎勤労者山岳会

報告：小池 秀子 計41名(男25 女16) 平均 歳

12/4 天王岩(1+1)	12/11-12 天神尾根・雪 トレ(9)	12/12-13 犬越路～檜洞 丸(5)	12/23 丹沢表尾根(2+3)
12/6 湯河原・幕岩(3)			

川崎ハイキングクラブ

報告：二瓶 誠 計102名(男51 女51) 平均62歳

11/18 シダゴ/丹沢(11)	12/6 矢倉岳/箱根(17)	1/10 子の権現/奥武蔵
11/20-22 高野山/紀伊山地(1)	12/7 矢平山/中央沿線(2)	1/17 小江戸めぐり/千葉県佐原
11/21-23 秩父湖～柳沢峠/秩父(4)	12/12 大楠山 二子山/三浦半島(8)	1/20 猪狩山(鞍掛山)/秩父
11/22 高川山/中央沿線(8)	12/12-13 明星ヶ岳 金時山/箱根 外輪(11)	1/23 鋸南水仙ロード/房総
11/28 明神ヶ岳/県連HLS(1)	12/12-13 丸岳 湖尻散策/箱根(9)	2/7 桧田山/埼玉
11/28-29 鳴虫山 太郎山/日光(3)	12/13-14 鐘撞 羅漢山/奥武蔵野 (9)	2/14 秩父観音巡り/埼玉
11/28-29 七面山/身延町(5)	1/3-5 藤原岳/鈴鹿山脈	2/17 笹尾根/奥多摩
11/29 石老山/利根ティールンク(14)	1/4 鎌倉七福神	
12/5 岩戸山/湯河原(6)		
12/5-6 夜叉人峠/鳳凰三山(5)		

アルパインクラブ横浜

報告＝岸 直哉 計38名(男23：女15) 平均 歳

11/30 湯河原幕岩(1+1)	12/12 伊豆城山(3+1)	12/23 湯河原幕岩(1+1)	12/29-31 尾勝谷支流塩 沢左俣(1+2)
12/5-6 八ヶ岳西面(1+2)	12/14 塔の岳(1)	12/26-27 八ヶ岳広河原 沢・右俣,左俣(1+1)	12/31 高尾山～三頭山(1)
12/6 湯河原幕岩(4)	12/15 高尾山～陣馬山(1)	12/27-30 剣岳・早月尾 根(3)	
12/7 金時山(1)	12/18 大山(1)	12/29 大山(1+1)	
12/8 裏同心ルンゼ(1)	12/19-20 富士山(雪上訓 練)(8)		
12/9 高尾山(1)			

横浜ハイキングクラブ

報告＝池上準子 計59名(男22：女37) 平均62歳

11/14 西御荷鋺山-東御荷鋺山	12/10 室内例会	1/14 室内例会
11/21 御前山(6)	12/12-13 忘年会(23)	1/17 矢倉岳
11/28 飯山観音-七沢森林公園(9)	12/19 金時山(11)	1/20 22草津スキー
12/5 不老山(中止)	1/10 大山	1/31 餅つき山行

横浜こぶしの会

報告＝田辺美由紀 計27名(男18人 女9人) 平均52歳

12/12 仏果山(6)	12/23 金時山(2)	1/8-11 野沢温泉スキー (2)	1/15-17 伊豆大島(未定)
12/19-20 天神平 雪トレ (中止)	12/30-1/3 田沢湖スキー (1)	1/14 室内例会	1/26 室内例会

藤沢山の会

報告＝中河原昭夫 計85名(男41：女44) 平均63歳

12/19-20 富士山(雪山実技)(9)	1/18 入会説明会	1/30 山梨・扇山(会ハイク)
12/19 焼津・高草山(会ハイク)(17)	1/20 30周年実行委員会	2/3 運営委員会
12/26-27 北八つ(雪山の集い)	1/21 雪山の集い学習会	2/10 室内例会
1/5 御岳山(9)	1/23 修善寺(会ハイク)	2/20 大野山(会ハイク)
1/6 運営委員会	1/23 野鳥観察会・横浜自然観察 の森(自然保護部)	2/24 室内例会
1/13 室内例会	1/27 室内例会	2/28 道志・高柄山
1/16-17 硫黄岳(雪山の集い)		

小田原ナーゲル山の会

報告＝中島健一 計30名(男20：女10) 平均 歳

12/26 八つ阿弥陀北稜(3)	1/2 筑波山(2)	1/11 霧ヶ峰XCスキー下 見(2)	会参加
12/27 幕岩(4)	1/3 幕岩(2)	1/16-17 霧ヶ峰XCスキー (8)会山行	1/24 幕岩環境保全参加
12/29 八つ横岳西壁石尊 稜(3)	1/3 幕岩(8+他の労山と 合同)	1/23-24 赤岳主稜(1)リー ダー学校	1/28 運営委員会
12/30 幕岩(2)	1/4 浜石岳(2)	1/13 例会	2/10 例会
12/31-1/2 丹沢木の又 小屋(2)	1/10-11 八つ広河原沢ア イスクライミング(5)	1/23-24 入笠山雪崩講習	2/21 北ア乗鞍スノーシュー ハイク・会山行
12/31 裏磐梯 雄国沼山 スキー(1)	1/10 北ア・四ッ岳山ス キー(3)		2/25 運営委員会

相模アルパインクラブ

報告:水村和也 計45名(男32:女13)平均49歳

11/24 大山 南稜(ボツカ訓練)(2)	カ訓練)(1) 11/30 城山(2)	12/12-13 赤岳鉱泉ベ ス(1)	12/23 広沢寺(3)
11/26 大山 南稜(ボツカ訓練)(1)	12/2 幕岩(3)	12/11-13 県連リーダ 学校 富士山(雪上訓練)	12/23 幕岩(3)
11/28 大山 南稜(ボツカ訓練)(2)	12/6 道場グレンデ(1)	(4)	予定
11/28 大山 南稜(ボツカ訓練)(3)	12/6 幕岩(2)	12/13 幕岩(2)	12/23-24 阿弥陀岳(南 稜)(1)
11/28 幕岩(6)	12/6 富士山(雪上訓練)	(18)	12/25-27 阿弥陀岳(北 稜)(1)
11/28 六甲山(1)	12/12 城ヶ崎(1)	12/19 大山 南稜(ボツ カ訓練)(1)	12/26-28 鳳凰三山(1)
11/29 幕岩(4)	12/12-13 城ヶ崎(1)	12/19 道場駅周辺(1)	12/25-31 仙塩尾根(1)
11/28-29 北八ヶ岳 中山 峠(1)	12/13 大山 南稜(ボツ カ訓練)(2)	12/19 幕岩(5)	12/30-1/2 八ヶ岳縦走(3)
11/29 大山 南稜(ボツ カ訓練)(2)	12/12-13 谷川岳(雪上 訓練)(2)	12/20 広沢寺(4)	1/3 幕岩(1)
12/13 丹沢三峰(1)	12/12-13 谷川岳(雪上 訓練)(2)	12/20 丹沢三峰(1)	12/31-1/4 甲斐駒ヶ岳・ 仙丈岳(2)
	12/13 丹沢三峰(1)	12/20 丹沢三峰(1)	12/25-1/5 中国(2)

みずなら山の会

報告:阿部ひろみ 計31名(男21 女10)平均 歳

11/14-15 城山 城ヶ崎(7)	11/28 大菩薩峠~牛の寝 通り(6)	12/11-13 富士山リーダ 学校(1)	(4)
11/14-15 つづら岩(3)	11/28 茅ヶ岳(2)	12/12 鷹取山(3)	12/23 権現山-雨降山(5)
11/15 西丹沢セルフレス キュー訓練(14)	11/29 城山(3)	12/12-13 城山 鷲頭山(2)	12/26-27 北八ツ岳東天 狗(7)
11/15 戸沢-蛭ヶ岳往復 (1)	11/29 幕岩(3)	12/13 金時山(3)	12/28-1/1 北アルプス南 岳西尾根(2)
11/15 丹沢主稜(2)	12/5 モミソアイゼント レ~花立山荘(5)	12/13 塔ノ岳~丹沢山ト レ(2)	12/29 幕岩(6)
11/21 大倉~塔ノ岳(1)	12/5 大倉~小草平~花 立山荘(6)	12/13 塔ノ岳トレ(2)	12/31 塔ノ岳トレ(1)
11/21-22 雲取山(3)	12/5 戸沢~読図~花立 山荘(3)	12/18-20 谷川雪トレ(7)	1/1 金峰山(2)
11/21-22 城ヶ崎(2)	12/5 戸沢~読図~花立 山荘(3)	12/19 帚沢-檜洞丸トレ (1)	1/3 鍋割山(8)
11/23 幕岩(8)	12/6 塔~蛭ヶ岳~西丹 沢(6)	12/19-20 八ヶ岳旭東稜 (2)	1/3 幕岩(8)
11/27 広沢寺セルフレス キュー(5)	12/6 塔~丹沢山~宮が 瀬(4)	12/23 塔ノ岳トレ(3)	1/4 塔ノ岳(2)
11/28 大倉~丹沢山往復 (1)		12/23 塔ノ岳-鍋割トレ	1/8-11 北アルプス蝶ヶ 岳(11)

雪董山の会

報告:小緑岳志 計17名(男13 女4)平均44歳

12/5-6 涸沢岳西尾根(蒲田富士まで往復)(7)	12/23 丹沢・大倉尾根(ポッカトレーニング)(1)
12/9 伊豆・城ヶ崎(1)	12/26 西穂高岳(西穂山荘まで)(1)
12/10 富士・宝永山(太郎坊入口から往復)(1)	12/27 丹沢・大倉尾根(ポッカトレーニング)(1)
12/13 木曾駒ヶ岳(干置敷から往復、雪上訓練)(4)	12/26-28 中央アルプス 木曾駒ヶ岳(上松Aコースか ら往復)(3)
12/17 丹沢(地藏尾根~蛭ヶ岳~源蔵尾根)(1)	12/29 丹沢・大倉尾根(ポッカトレーニング)(1)
12/19 八ヶ岳・旭岳東稜(敗退)(1)	12/29-30 南岳 西尾根(敗退)(1)
12/20 南アルプス前衛・大金山(2)	
12/21 八ヶ岳・大同心稜(大同心基部まで)(3)	

やま++

報告:栗田 彰 計12名(男9:女3)平均50歳

12/13 丹沢表尾根(2)	1/4 丹沢・大山三峰~大山	1/27 例会
12/16 忘年会(10)	1/9-10 雪山トレ・北八ヶ岳	
12/23 スキー・プランシユ高山 (4)	1/13 例会、	
	1/23-24 新年会・湯の丸山周辺	



県連のスケジュール

1月		2月		3月			
1	金	1	月	常任理事会	1	月	常任理事会
2	土	2	火		2	火	
3	日	3	水	登山リーダ養成学校机上講習	3	水	登山リーダ養成学校修了式
4	月	4	木		4	木	
5	火	5	金	常任理事会	5	金	
6	水	6	土	登山リーダ養成学校机上講習	6	土	
7	木	7	日	遭対部会	7	日	
8	金	8	月	遭対部会/連盟news印刷	8	月	遭対部会/連盟news印刷
9	土	9	火	連盟news印刷	9	火	事務局長会議/連盟news発行
10	日	10	水		10	水	
11	月	11	木		11	木	
12	火	12	金	事務局長会議/連盟news発行	12	金	
13	水	13	土		13	土	
14	木	14	日		14	日	第32期定期総会
15	金	15	月		15	月	
16	土	16	火	全国理事会/救助隊運営会	16	火	全国理事会
17	日	17	水		17	水	
18	月	18	木	事務局部会	18	木	事務局部会
19	火	19	金	全国理事会	19	金	
20	水	20	土		20	土	登山リーダ養成学校卒業山行
21	木	21	日	事務局部会	21	日	登山リーダ養成学校卒業山行
22	金	22	月		22	月	自然保護委員会
23	土	23	火	登山リーダ養成学校実技講習 関東B雪崩事故防ぐ講習会 東日本女性交流集会高尾	23	火	
24	日	24	水	登山リーダ養成学校実技講習 湯河原梅林公園清掃活動 関東B雪崩事故防ぐ講習会 東日本女性交流集会高尾	24	水	
25	月	25	木	自然保護委員会 クリーンハイイク第1回実行委	25	木	
26	火	26	金		26	金	
27	水	27	土	登山リーダ養成学校実技講習 関東B救助隊深雪搬出訓練	27	土	
28	木	28	日	関東B救助隊深雪搬出訓練 登山リーダ養成学校実技講習	28	日	
29	金				29	月	自然保護委員会
30	土				30	火	
31	日				31	水	

2009年度以降の全国的な規模の集会・会議予定

湯河原梅林公園環境保全活動	1月24日
第11回東日本女性登山交流集会	1月23日～24日（東京・高尾の森）
第17回 関東ブロック「雪崩事故を防ぐための講習会」	1月23日～24日
関東ブロック救助隊深雪搬出訓練/交流集会	2月27日～28日
第29回全国総会	2月20日～21日 東京・晴海GH
第24回雪崩事故を防ぐための講習会	2月12日～14日 （中ア・宝剣岳、黒姫山）
全国連盟50周年記念講演	5月30日～6月6日